

令和8年度 学校だより 9月号 8月31日発行

横浜市立山元小学校

横浜市中区山元町3-152



やまもと

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yamamoto/>

豊かな成長に向けて

校長 薄田 秀明

長かった夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。日に日に朝夕の暑さが和らぎ、秋の気配を感じる季節となりました。9月は、学びや運動、友達との関わりなど、一人ひとりが大きく成長できる大切な時期です。子どもたちが笑顔で充実した学校生活を送れるよう、教職員一同力を合わせて支援してまいります。

さて、夏休みに入ってからすぐに熊本県で大きな地震のニュースが飛び込んできました。多くの尊い命が失われ、多くの方々が住み慣れた地域や大切なものを失いました。改めまして、地震によりお亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

また、今なお困難を抱えながら生活されている皆様に、心からお見舞い申し上げます。熊本の子どもたちが前を向いて歩み続ける姿や、多くの方々が支え合いながら復興に取り組まれている姿は、私たちに勇気と希望を与えてくれています。助け合いの心や命の大切さについて、子どもたちとともに考え続けていきたいと思っています。

また、各地で大雨による被害が発生しました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。自然災害はいつどこで起こるかわかりません。だからこそ、日頃から防災への意識を高め、自分や家族の命を守る行動について考えておくことが大切です。学校でも避難訓練や安全教育を通して、防災意識を育んでまいります。

前期後半からは、学習活動や学校行事を通して子どもたちがより豊かな成長をする

時期になります。充実した毎日にするために、私は子どもたちに三点のことを特に大切にしてほしいと考えています。

一 「あいさつ」です。明るいあいさつは、自分も相手も元気にします。学校や地域に笑顔の輪を広げてほしいと思います。

二 「挑戦すること」です。勉強や運動、読書など、少し難しいと思うことや苦手としていることにも勇気を出して取り組んでほしいと思います。失敗を恐れず挑戦する経験が、大きな成長につながります。

三 「健康第一」です。9月になっても暑い日が続きます。早寝・早起き・朝ごはんを心がけ、水分補給や十分な休養を取りながら元気に過ごしてほしいと思います。自分のことを大切にすることが周りのみんなも大切にするにつながります。

「楽しい学校」は誰かが作ってくれるものではありません。一人ひとりが相手を思いやり、ルールを守り、協力し合うことで生まれます。友達のよさを認め合い、困っている人がいたら手を差し伸べる、そんな心温かい学校を子どもたち、保護者、地域みなさんといっしょに築いていきたいと思っています。そして、一日一日を大切に積み重ねながら、笑顔あふれ、希望に満ちた山元小学校にしていきたいと思っています。

日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。子どもたちが安心して学び、楽しく学校生活を送ることができるよう、引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。